

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
横浜市下倉田地域ケアプラザ	(福) 開く会	A	<p>(全事業共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職種が、地域の各種会議（地区連合定例会、地区社会福祉協議会定例会など）やエリアで開催されているサロンや行事等に継続的に参加して、相談しやすい環境づくりを行ったほか、把握した情報をケアプラザ内で共有し合い、各職種・事業が連携して取り組みました。 <p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長と共にケアプラザの利用頻度が少なくなったかつて子育てをしていた層を、事業に巻き込めたことで、ケアプラザを介して子育て層との情報交換等ができています。 ・各職種で情報共有を丁寧に行ったことにより、新規のボランティア活動につなげた事例がありました。 ・ケアプラザ祭りやボランティア交流会等の実施にあたっては、ボランティア同士が交流しボランティアの活動が盛んになるよう企画しました。 ・ケアプラザ祭りでは、連合や地区活動のブースを設けるなど工夫して、連合及び地区内の団体と協力して実施しています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活情報紙を発行し、館内に掲示しています。 ・スーパーやドラッグストアなどと今後に向けた連携にむけた関係づくりが始まっています。 ・キャラバンメイト連絡会と連携し、地域住民向けにサポーター養成講座を開催しました。 ・居宅介護支援事業者連絡会では、医療関係者を招き講義をってもらうなどケアマネジャーの支援に努めました。また、ケアマネジャーと民生委員の情報交換会を開催し、顔の見える関係づくりの一助となっています。 ・元気づくりステーションを 4 会場で実施し、新規入会者もあり、継続的な支援が来ています。 ・独自に作成した「はつらつシニア読本」を改訂し、相談者や希望者に配布し、新規のサークル活動につながるなど地域住民に広く活用されています。 ・地域の介護予防活動を行っている体操のボランティアグループの定例会に出席し、支援しています。

			<p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の生活支援サービス団体の方々との情報共有や意見交換を実施し、「生活支援ボランティア情報誌」を作成しました。・生活支援（住まいの修繕等）に関する講座を実施しました。・認知症の方や家族が来やすい場所・相談しやすい身近な場所として、サロン「アランチャ」を立ち上げました。
--	--	--	---